

ハイライトよねやま 72

(財)ロータリー米山記念奨学会

2006年2月13日発行

1. 寄付金速報 ～下半期の寄付状況

1月までの寄付金は、前年同期と比べ1.4%増、約1千4百万円の増加でした。普通寄付金が0.7%減、特別寄付金が2.6%増です。年を明けても前年同期比は上回り、これで7ヶ月連続増加の記録を更新中です。この喜ばしい結果はひとえに皆さまのご努力の賜です。事務局では今後も寄付増進の方策について引き続き協議していく予定です。2006年もより一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2. 2006-07年度ガバナー・エレクトノ米山奨学委員長合同セミナー開催報告

2月6日、全地区のガバナー・エレクトと次期米山奨学委員長を対象とした合同セミナーが、東京・品川の高輪プリンスホテルで開催されました。冒頭の挨拶のなかで、来賓の重田政信RI理事は次のように述べられました。



「米山奨学事業はRIにまだ多地区合同活動という概念のない時代に日本のロータリアンが世に先駆けて始めた立派な活動です。事業規模や採用数といった数字上の成果はもとより、終戦間もない時代に“世界平和”を目的とした先見性あふれる理念、他国への広がり、次世代に偉大な遺伝子を残している点で、目に見えない大きな成果を生んでいます」

米山奨学事業の意義を改めて認識したうえで、今後の事業推進のためにさまざまな角度から話し合いがなされました。

パネルディスカッション

- A. ガバナーの理解と協力によって促進した地区米山奨学事業 : 長沢純一郎氏(2800/山形西 RC)
ガバナーの理解と協力によって米山奨学事業の理解を地区に浸透させ、寄付額が大幅にアップした(前年同期142%増:05年11月時点)事例紹介。
- B. 望ましい奨学生採用とは —— 大学・学校との関係づくりの重要性 : 北川哲氏(2660/大阪南 RC)
地区のロータリアン誰もが納得するような質の高い優秀な米山奨学生を採用するための、独自の工夫例を披露。大学の学長や担当者を集めた説明会・大学訪問や、選考の基本方針や細かい採点方法など。
- C. 多くの会員に米山奨学事業を身近に感じてもらう工夫例 : 渡辺喜代美氏(2500/帯広 RC)
大学所在地が限られている当地区で、米山奨学事業への理解を浸透させるために実施してきた“ホームステイ”や“子クラブ制度”など数々の試みをスライドで紹介。

グループディスカッション

事前に希望をとった4テーマごとに6グループのグループディスカッションが行われました。

- A. 奨学事業をより多くのロータリアンに理解してもらうための方策(感動)
 - 世話クラブ未経験のクラブへの重点的PR/奨学生のホームステイ/奨学生のクラブ行事参加/米山委員の増員/学友の活躍 など
- B. 組織的な寄付増進の方策
 - ガバナーが目標額を設定/寄付額が平均以下のクラブはまず平均を目標に/ガバナー補佐を活用/寄付増進重点地域を設置 など
- C. 指定校選定の方針・工夫と望ましい奨学生選考への方策
 - 各地区の実例紹介/選考時の点数配分と重視するポイント など
- D. 米山奨学事業の基礎知識
 - 米山奨学生に求める“優秀性”とは/国籍が偏っていることへの対処法 など



3. クラブ支援奨学金（旧CY奨学金）申し込み状況

現役奨学生の延長支援制度、「クラブ支援ロータリー米山奨学金」の申し込みが12月15日に締め切られました。応募総数は35人（前年度49人）と、制度改編によって対象が拡大したにもかかわらず、例年よりやや少ない応募となりました。これは、「真に延長に値する米山奨学生のみ」というPRが浸透したこと、そして、従来とは異なり、本奨学金の採用数が地区の採用数に含まれることになったため、地区でも慎重にならざるを得ないという現実があったようです。

「同じ大学の上級課程進学者だけではなく、地区内の他大学進学者にも資格を与えてほしい」、「世話クラブが半額を負担するのだから、月額7万円の“地区奨励奨学金”と同様に、1名の採用枠で2名とすべき」など、本制度へはさまざまな要望が寄せられています。

4. カウンセラー研修会

今年度、カウンセラー研修会を開催した地区は、2月現在で12地区です。これまでの報告から、研修会のスタイルは大きく2つのパターンに分けられるようです。ぜひ参考にしてください。

1 大学から講師を招き、質疑応答型のスタイル

奨学生が多くの時間を過ごす、大学の国際交流センター職員や担当教授から現場の声を聞くことにより、留学生ケアにおける互いの役割分担が明確になり、大学との信頼関係を築くことができたという報告がありました。

2 情報交換と事例研究の勉強会スタイル

事前アンケートを実施して、参加者が抱える問題や日ごろ配慮している点をまとめ、勉強会の材料とする工夫例がありました。さらに、それらを全員で討議することによって、個人ではこれまで考えが及ばなかった配慮——例えば、宗教・政治・戦争に関する話題や、宗教上の飲食の制限、自覚なくハラスメントを与えていないか——といったことへの重要性に気づき、カウンセラーとしての資質に磨きがかかる研修会になったとの報告がありました。

5. 米山奨学生のスピーチコンテストが開かれました【第2590地区／学友会主催】



コンテストに参加した2590地区米山奨学生

2005年10月29日、第2590地区（横浜市・川崎市）学友会主催による現役米山奨学生のスピーチコンテストが開催され、当地区の奨学生5人が参加しました。地区米山奨学委員会による厳正な審査の結果、最優秀賞に湯伊心さん（横浜ベイRC）の『私にとっての米山面接試験』、特別賞として呂学龍さん（横浜中RC）が選ばれ、賞状と図書券が贈呈されました。

今回初の試みとなったこのスピーチコンテストは、地区大会を間近に控えていたこともあって小規模で行われましたが、今後も継続して実施する予定です。「次回はもっと多くの米山奨学生に参加してもらって、更に活気のある会にしたい」と、開催に関わった学友は意気込んでいます。

もうお読みになりましたか？

『点描 米山梅吉 日本のロータリークラブと信託業の創始者』

購入希望者は、書店あるいは新風舎(TEL:03-3746-4648)まで。谷内 宏文 著 / 新風舎文庫 / 890円

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/